

## 2000 ゴミ探偵団パート 3

調査者：ゴミ拾いハイキング参加者（まとめ：高橋 剛）

調査場所：園内（センター前→モンキチョウの広場→ヘイケボタルの湿地→ウグイスの草地→アキアカネの丘→ピクニック広場→センター前）

調査日：2000年12月23日（土）

調査開始年：2000年

2001年度予定：終了

終了予定： 年

### 1. はじめに

2000年12月23日（土）に、横浜自然観察の森友の会の行事としてゴミ拾いハイキングが行われた。この行事で参加者によって拾われたゴミを集計し分かったことを述べる。

### 2. 実施方法

ゴミ拾いハイキングへの参加者らによって、コースをたどりながらゴミを拾い、どのようなゴミが何個落ちているかを、拾いながら記録し集計した。

経路は、センター前を出発し、モンキチョウの広場、ヘイケボタルの湿地、ウグイスの草地、（東屋、草地、林）、アキアカネの丘、ピクニック広場を経て、センター前までであった。

また、記録・集計に当たっては、「1997年度 横浜の自然観察の森 調査報告3」「1998年度 横浜の自然観察の森 調査報告4」を参考にした。

### 3. 結果

拾ったゴミの種類や個数、割合は表1のとおりである。なお一袋の中に、弁当がらと飲み物の缶が一緒に入っていた場合などは、袋の中身を確認し弁当がらと缶とは別々にカウントした。

表1 拾ったゴミの種類とその個数

ゴミの種類	個数 (率)	ゴミの種類	個数 (率)
ビニール・ポリ袋	284 (29.9)	段ボール	3 (0.3)
菓子のかす	211 (22.2)	ライター	2 (0.2)
タバコの吸い殻	147 (15.5)	お弁当箱	1 (0.1)
缶・瓶	92 (9.7)	軍手	1 (0.1)
紙・新聞紙	80 (8.4)	電池	1 (0.1)
弁当がら	70 (7.4)	ゴムベルト	1 (0.1)
プラスチック製品	20 (2.1)	眼鏡ケース	1 (0.1)
ペットボトル	12 (1.3)	ロープ	1 (0.1)
生ゴミ (果物の皮)	7 (0.7)	遊具 (ソリ)	1 (0.1)
針金ハンガー	6 (0.6)	イヤホン	1 (0.1)
薬袋	5 (0.5)	その他	1 (0.1)
エンピツ	3 (0.3)	合 計	950 (100)

今回拾ったゴミの総数は950個で、これまで報告されてきた97年度、および98年度調査報告を上回る数となった。

ワースト3は「ビニール・ポリ袋」、「菓子のかす」、「タバコの吸い殻」であった。

今回は特にビニール系のゴミが多く、さらに飴などが個別包装されていたとみられる小さなビニール系の袋が多く拾われた。また98年度調査報告で言われていた周辺状況によるゴミの数量変化は、今回も同じように見られた。

なお、拾ったゴミについては分別してまとめ、処理をした。

横浜自然観察の森調査報告6(2000)

植物種子調査

調査者：高橋 剛（横浜自然観察の森友の会）

調査場所：横浜自然観察の森 全域

調査日：2000年4月～2001年3月

調査開始年：1996年

次年度予定： 継続

終了予定： 未定

横浜自然観察の森園内における植物種子の標本を作製中

## 横浜自然観察の森利用データ調査〈2〉

調査者：今永正文〔(財)日本野鳥の会サクチュアリセンター横浜自然観察の森〕

調査場所：横浜自然観察の森

調査日：2000年4月～2001年3月

調査開始年：1999年

来年度予定：継続

終了予定：2001年度

### 目的：

昨年度に引き続き、横浜自然観察の森全体の利用状況を調査した。本調査は、過去10年間のデータとの比較から、現状の施設の利用傾向を把握し、今後の施設運営の基礎資料とすることを目的とする。

### 調査方法：

年度毎に調査してきた施設利用データを収集・整理し、昨年度に引き続き「利用者数の経年変化」・「利用形態比較」・「来館回数比較」・「来園者の年代比較」・「団体利用動向」・「取材・視察件数」の各テーマにそってデータを分析し、結果をまとめた。また、今回より調査に過去10年間の「四半期毎来園者数比較」を加えた。

### 結果：

- 1) 利用者数変化 (図1)  
2000年度の来園者数は約3万6千人となり、昨年度より5000人ほど来園者は減少した。93年度をピークとして全体的には減少傾向を示している。
- 2) 利用形態比較 (図2)  
行事参加者は、95年度より引き続き全体の1割を維持しているが、2000年度は団体利用者数の割合が減少し、98年度とほぼ同じような割合を示した。
- 3) 来館回数比較 (図3)  
6回以上の来園者が引き続き増加し、緩やかな常連化傾向を示していると共に、はじめての参加者がわずかながら増加した。
- 4) 来館者年代比較 (図4)  
2000年度において、高齢者の施設利用が99年度と同様の割合を示しており、全体的には高齢化が継続している。学童の利用は微増した。
- 5) 団体利用動向 (図5)  
利用した団体数は、93年度以降ほぼ380件を前後し安定している。2000年度は99年度に比べると対応を求める団体数は微減した。
- 6) 取材・視察回数動向 (図6)  
取材件数・視察件数共に、減少してきている。
- 7) 四半期毎来園者数比較 (図7)  
今回より新たに年度を4期に分け、それぞれの来園者数を総計し、結果をまとめた。2000年度は、過去10年間の平均値と比べると、「4～6月」の利用が落ち込んでいる。

※なお、ボランティアの利用動向については、「友の会基礎データ調査」に一括し結果をまとめた。

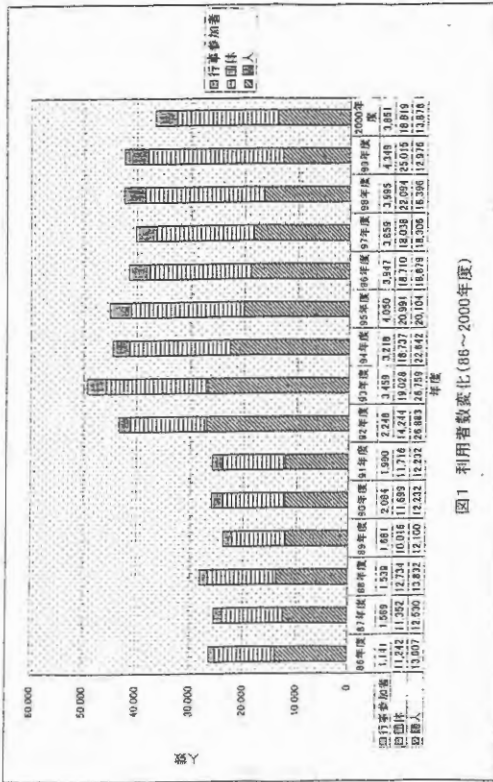


図1 利用者数変化(86~2000年度)

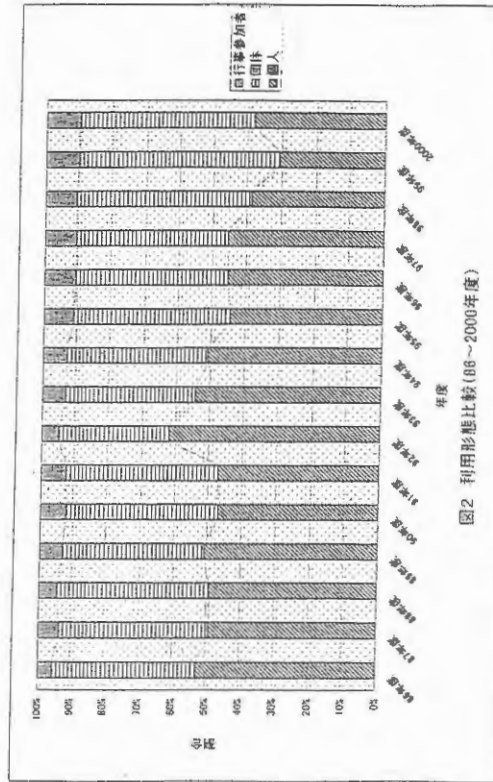


図2 利用形態比較(86~2000年度)

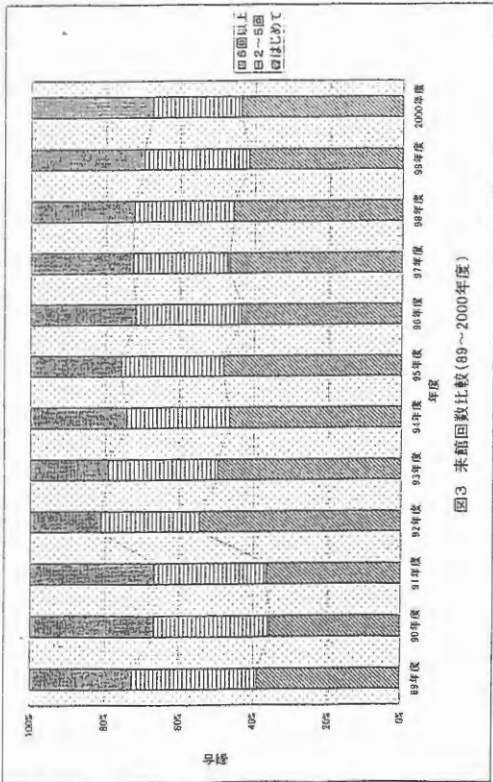


図3 性別比較(89~2000年度)

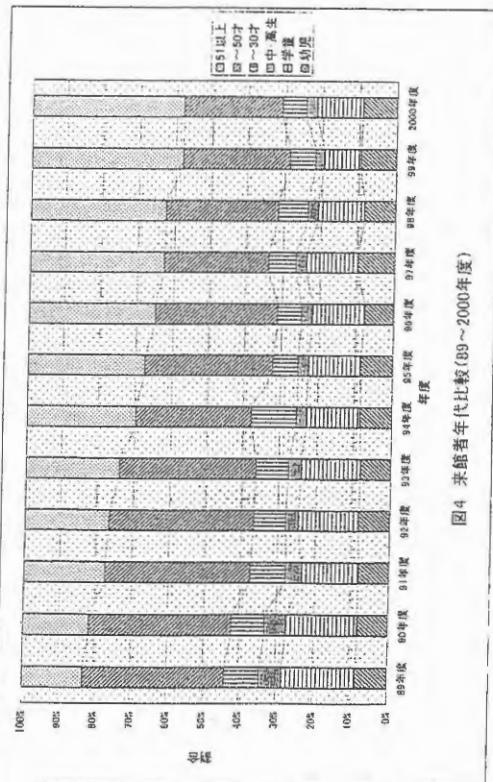


図4 年齢年代比較(89~2000年度)

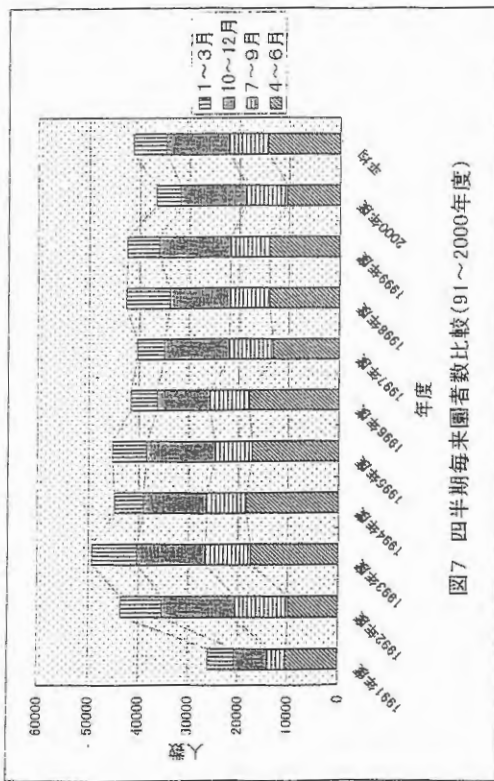


图7 四半期毎来園者数比較(91~2000年度)

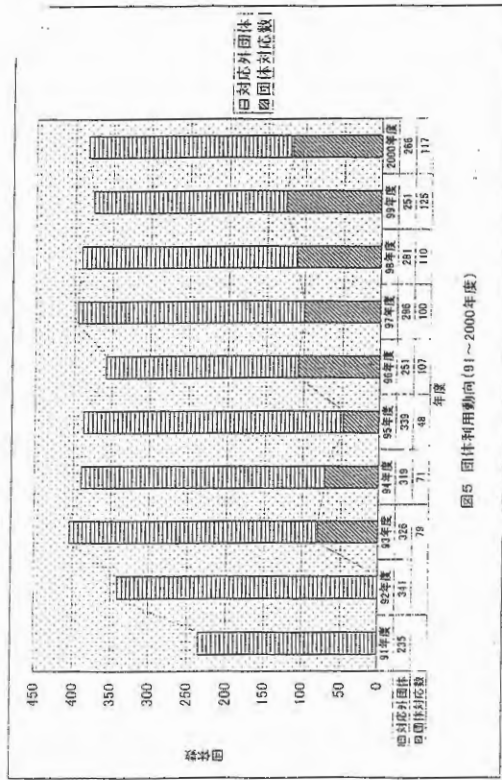


图5 団体利用動向(91~2000年度)

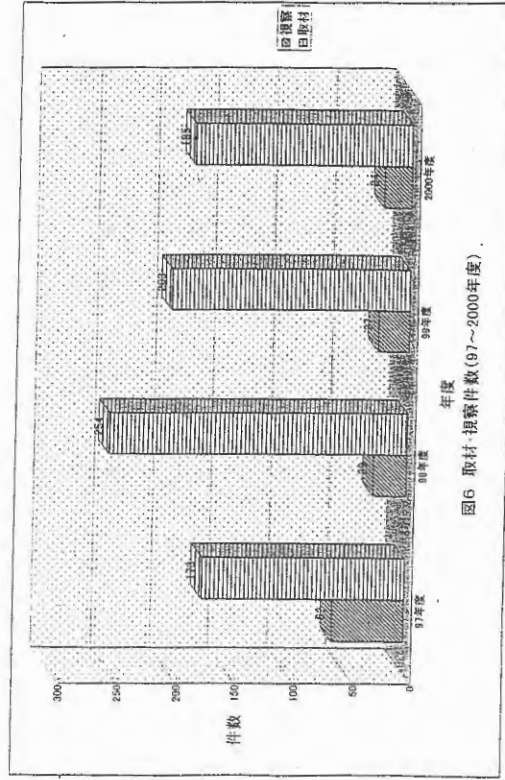


图6 取材-視察件数(97~2000年度)



## 横浜自然観察の森 友の会基礎データ調査 (4)

調査者：尾崎理恵 (日本野鳥の会サクチュアリセンター 横浜自然観察の森担当)

調査場所：横浜自然観察の森

調査期間：2000年3月～2001年3月

調査開始：1997年                      来年度予定：終了                      終了予定：

### 調査目的：

施設のボランティアグループ「横浜自然観察の森友の会」の会員動向を把握し、施設利用を促進させるための基礎資料とする。

### 調査内容：

氏名を削除した会員データを友の会より借用し、そのデータをもとに「会員数の経年変化」「年齢分布」「過去三年間の比較」「新規会員年齢分布」「99・2000年度新規会員比較」「施設ボランティア延べ人数」の6項目についてデータを分析し、まとめた。

### 結果：

#### 1) 会員数の経年変化 (図1)

2000年度の会員数は349名となり、99年度に比べ50名減少した。

#### 2) 年齢分布

98年度および99年度と同様、50代の会員が最も多く続いて60代、40代という結果となった。男女の数では10代、20代、30代では女性会員が男性を上回り、0-9、50代、60代、70代では男性会員が女性を上回った。40代では同数であった。

#### 3) 過去3年間の年齢分布比較 (図3)

特徴的であったのは50代の会員が減少していること。また2000年度は30代、60代も減少している。一方10代、20代はわずかながら増加傾向にあることがよみとれる。

#### 4) 新規会員年齢分布 (図4)

全体では50名の会員が新たに加入した。年代では50代の新規会員数が最も多く次いで、40代、60代と続いた。性別では50代、60代男性の加入が多かった。

#### 5) 99年度・2000年度新規会員比較

50代男性がわずかに増加している。しかしながら全体的に2000年度は会員数が減少傾向にあった。

#### 6) 施設ボランティア延べ人数 (図6)

友の会を含む施設で活動したボランティア人数を合計した延べ活動人数の経年変化を調査した。97年度を頂点とし、それ以降は減少傾向にあることがわかる。施設ボランティアは減少傾向にあるのだが、友の会ではないが施設のボランティアをおこなった人数は99年度に比べると100人以上増加している。

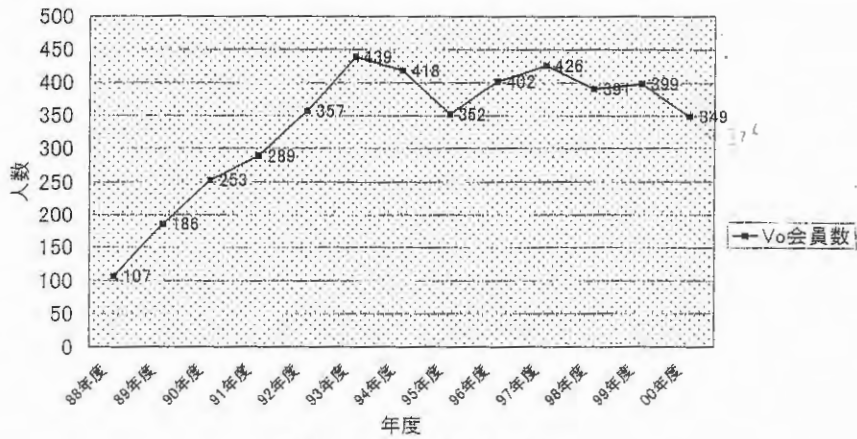


図1 友の会会員数変化

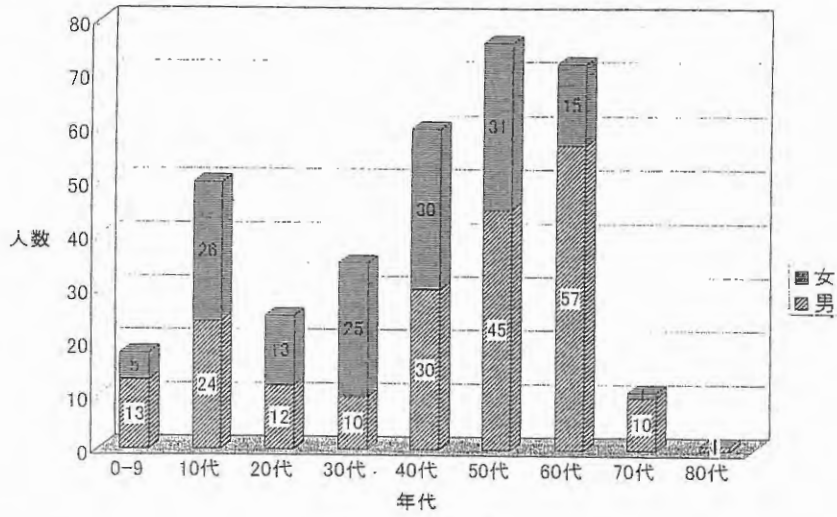


図2 会員年齢分布

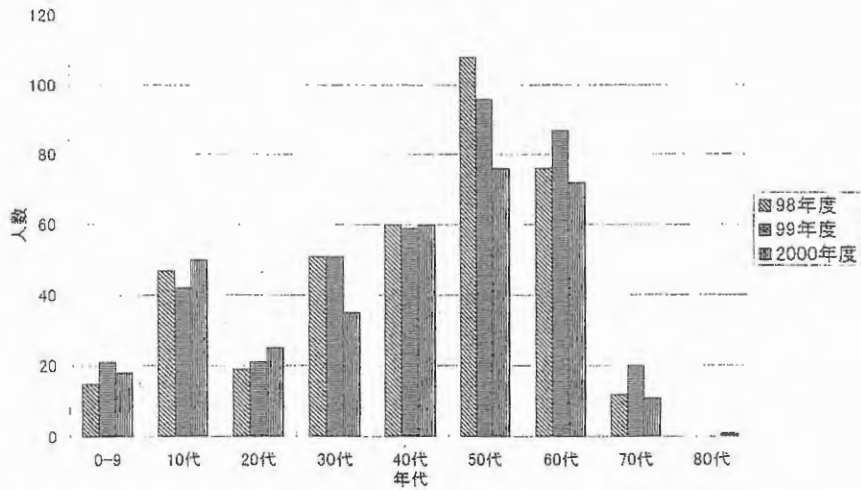


図3 過去三年間の年齢分布比較

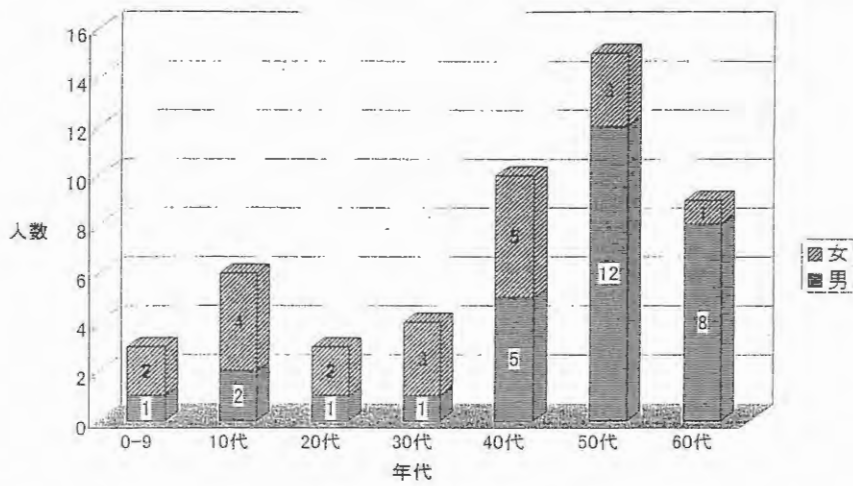


図4 新規会員年齢分布

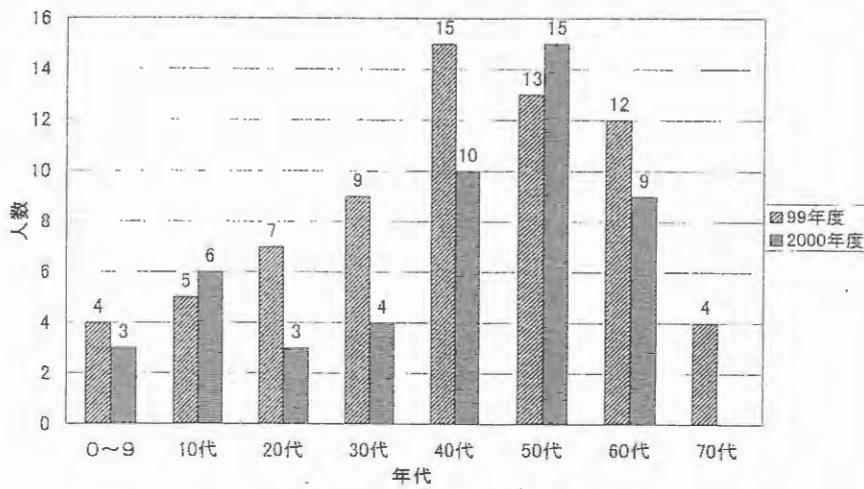


図5 99・2000年度新規会員内訳

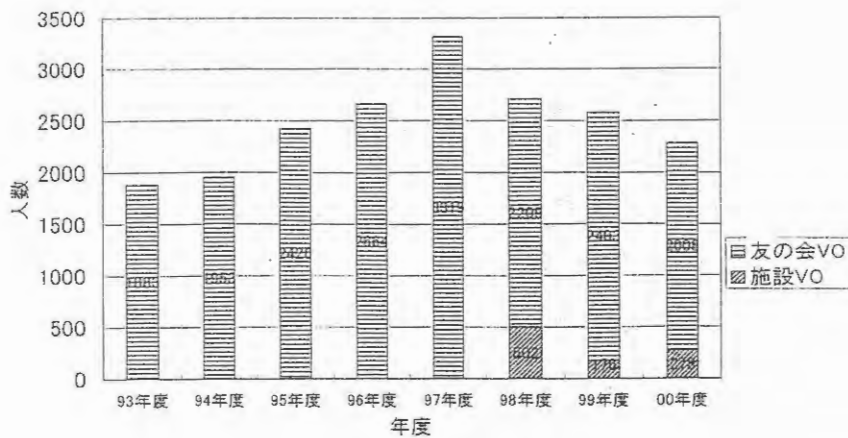


図6 施設ボランティア述べ人数



## 行事効果測定調査

調査者：植村美由起（日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

調査場所：自然観察センター

調査期間：2000年4月1日～2001年3月31日

次年度予定：継続

調査目的：行事内容が参加者の求める内容と合っているか考察するための資料とする。

調査方法：大人を対象とした主催行事のうち8回の行事に対して行事終了後、「どのような行事があればよいか」というアンケートを行なった。

調査結果：回収したアンケート数は95枚であった。そのうち、無回答数は50枚、有効回答数は45枚であった。有効回答を集計すると、「同じ内容の行事」を求める回答が19枚であり、有効回答の約42%であった。自然のものを使った工作や知識的な内容を求める回答もあった。

半数近くの人が現状の内容で良いと感じているが、半数以上の人は新しい内容のものを求めていることがわかった。

表1. アンケート回答内容と回答数

回答内容	枚数
同じ内容の行事	19
自然のものを使った工作	6
知識的なことを教える行事	5
動物・植物の観察会	4
農業関連の行事	3
平日の行事	2
年間通した行事	2
ネイチャーゲーム講座	1
地学的な行事	1
ネズミ、ヘビを調べる行事	1
植林	1

横浜自然観察の森 自然観察センター内 展示効果測定調査 (2)

調査者：尾崎理恵（日本野鳥の会サクチュアリセンター 横浜自然観察の森担当）

調査場所：横浜自然観察の森 自然観察センター

調査期間：2001年3月

調査開始：1999年

来年度予定：終了

終了予定：

調査目的：

自然観察センターの展示は、常設展示、季節展示に分かれており、園内の自然情報について情報発信を行っている。中でも季節展示はレンジャーの手作りによるものが多い。そこで本調査では一つの季節展示に焦点を当て、来館者にインタビューを行うことで企画者のメッセージが正しく利用者に伝わっているのかを調査した。

調査内容：

第4回季節展示「冬のいきものはどこだ」を取り上げ、この展示を見終わった来館者に「この展示がどのようなことを言おうとしているのか」を質問した。今回の調査では回答者のうち7割以上の言葉の中に「冬越し」「隠れている」の2つのキーワードが出たら企画者の意図が伝わっているものと判断した。

調査対象：

2001年3/18、3/23、3/27、3/29、3/30に展示に参加した6才から小学校6年生までの50人とした。

企画展示概要：

タイトル：「冬のいきものはどこだ」

展示内容：小学生を対象に冬越ししている生き物がどこに隠れているかを体験的に知ることができるよう、ジオラマを作成。またジオラマの中に設置した素材を使用し、ビンゴゲームを併設。シートを用いてジオラマから生き物探しができるようにした。

結果：

企画展示に参加した子供50人に「この展示がどのようなことを言おうとしているのか」質問したところ37人（74%）が「冬に隠れている」「冬越し」「冬になると生き物は寒いから隠れる」といったキーワードやキーワードを含む言葉が発せられた。7割以上の回答者から、こちらの意図したキーワードが出されたということで、今回の企画展示のメッセージは参加者に伝わっていると判断することができる。

しかしながら13人（26%）からは「わからない」や「ゲーム」などの回答がされた。これらの回答は大変重要な意味を持っている。企画側は来館者が企画展示をただ読むのではなく、来館者が自ら関われるようにゲーム性を用いた内容にしたが、来館者は逆にゲームのみを楽しみメッセージが伝わっていなかったといえよう。

考察：

ネイチャーセンターにおける展示は、常に自然情報を発信することが求められている。またいかにそれを来館者に知ってもらえるかは、展示の見せ方によるところが大きい。横浜自然観察の森における展示は、小学生の来園が多いので小学校1年生からわかるような内容に設定してある。また彼らが展示に興味を持ち、自然に関心を持つようクイズなどゲーム性を用いたものを作成することが多い。こうした工夫は来館者に展示を見てもらうために大変有効な手段であると思われる。だが今回の結果からもわかるように「関わりやすさ」「楽しさ」を求めすぎるとメッセージ自体が薄れ、来館者には何も伝わらないという結果になりかねない。今後メッセージを正確に伝えていくためには、双方のバランスを十分考慮していく必要がある。

## 林管理の鳥類への影響に関する文献調査

藤田 薫 (日本野鳥の会サンクチュアリセンター)

調査開始 1999年      次年度 継続      終了予定 未定

### 調査目的

林管理が生物におよぼす効果や影響についての文献を収集し、どのような影響があるのかを明らかにする。1999年から2001年にかけては、主に鳥類への影響についての文献を収集する。

### 調査結果

#### 1. 林の構造と鳥の数の関係

14本の文献が収集された。その全ての文献で、構造の複雑な林の方が単純な林よりも、鳥の種類・個体数・種多様性が高かった(表1)。

表1. 林の構造と鳥の数の関係      数字は文献数

	複雑な林	単純な林
鳥の種数多い	12	0
鳥の個体数・密度多い	8	0
鳥の種多様度高い	6	0

#### 2. 雑木林管理の影響

7本の文献が収集された。管理によって鳥が減る場合と、増える場合、また、鳥類の行動が変わる、などの文献があった。管理によって減る種は林内生息種が多く、増える種は、町中や草地などに生息する種が多かった(表2)。

表2. 雑木林管理による鳥類の増減等の変化      数字は文献数

種数と個体数が減る	2	コゲラ・メジロ・ヤマガラス・シジュウカラが減る
増える種がある	1	ホオジロ・アオジ・シメ
増える種と減る種がある	3	増: ビンズイ・モズ・ホオアカ ... 減: ウグイス・コルリ 増: カワラヒワ・ホオジロ・ムクドリ・スズメ・オナガ ... 減: ヤブサメ・メジロ 増: アクロウ・コゲラ・エナガ・シジュウカラ・メジロ・ カシラザカ・カワラヒワ・ホオジロ ... 減: ウグイス・アオジ
鳥類の行動が変わる	1	シジュウカラ・ヒガラ・コガラのリングホストの位置

(2000年度日本鳥学会大会で発表)

## 草地管理の生物への影響

藤田 薫(日本野鳥の会サンクチュアリセンター)・篠原由紀子(横浜自然観察の森友の会)

調査場所 ピクニック広場

調査日 2000年8月～10月

調査開始 1997年 次年度 継続 終了予定 2001年

### 調査目的

生物に身近に触れることのできる草地管理の基礎資料として、除草の生物への影響を明らかにする。

### 調査方法

月に1回、2m×20mの調査コース6本の範囲にいるクモ類・直翅類(バッタ類・鳴く虫)の個体数を調査した。今年度は、広場ごとに草丈を変えるのではなく、各広場の中に、草丈の高い場所をパッチ状に残す形で除草を行った。

### 調査結果

昼行性のバッタ類では、オンブバッタ・クルマバッタモドキ・ショウリヨウバッタ・ショウリヨウバッタモドキ・イナゴの仲間が確認された。

夜行性の鳴く虫のでは、カンタン・クチキコオロギ・エンマコオロギ・ウマオイの仲間・ツツレサセコオロギ・シバスズorマダラスズ・カネタタキ・オカメコオロギ・クサキリ・アオマツムシ

造網性のクモ類では、ナガコガネグモ・ジョロウグモが確認された。

アリジゴクの空間分布の季節変動		
調査者： 藤田 剛 (東京大学・生物多様性科学研究室)		
調査場所： カシの森		
調査日： 4月10日, 6月12日, 8月11日, 10月17日, 12月12日		
調査開始年： 1996年	次年度予定： 継続・終了	終了予定年： 2001年
<p><b>調査目的:</b>                      アリジゴクは、森林内の裸地という島状に散在する生息地だけに分布している。各裸地のパッチに生息するアリジゴクの個体数と裸地のパッチ内の空間分布の季節変化を調べ、その変化が起こるメカニズムを明らかにする。</p> <p><b>調査方法:</b></p> <p>1. 個体数と空間分布の季節変化の記録</p> <p>a. 裸地パッチ間で個体数の季節変化は同調しているか?                      面積のちがう裸地を4つ選び、各裸地内に存在するアリジゴクの巣穴を数えた。その際、巣穴の長径と短径も測定し、さまざまなサイズの巣穴がいくつあったのかが分かるようにした。記録は、偶数月の天候が良い日(雨の日にはアリジゴクは巣穴を閉じてしまう)に各1日ずつ行った。</p> <p>b. 裸地パッチ間で巣穴の空間分布パターンは一致しているか?                      aで選んだ各裸地内のどの位置に巣穴があったのかを、記録した。その際、巣穴の長径と短径も測定し、各サイズの巣穴がどこにどう分布していたのかが分かるようにした。記録を行った日は、aと同じである。</p> <p>2. 季節変化が生じるメカニズム解明のための調査                      まず「裸地内に生息するアリジゴクの個体数と空間分布は、食物であるアリなど小型節足動物の出現パターンによって決定されている」という仮説を立てた。そして:</p> <p>a. 各裸地のアリジゴクの巣穴数と、裸地周辺にいる餌動物数の季節変化は同調しているか?                      b. 各裸地内で、餌動物が多く捕まるところに、大きな巣穴が多いか?                      という2点を調べることにした。</p> <p>a. 巣穴数と餌動物数の季節変化                      1.aで選んだ4つの裸地内および各裸地から1m以内にいる小型節足動物を数えた。調査日は1の調査と同じである。1.aで調べたアリジゴク巣穴数とこの餌動物数の季節変化パターンが、同調しているかどうかは、Kendallの順位相関係数とメタ解析で検定する予定である。</p> <p>b. 巣穴の空間分布と餌捕獲効率                      1.bで記録された各アリジゴク巣穴に、捕獲された昆虫がいるかどうか記録した。また、裸地内と裸地から20cm以内にいる餌動物の位置を記録した。調査日は1の調査と同じである。1.bで明らかにした巣の空間分布の結果と合わせ、餌捕獲効率が高いところに大きな巣穴が多いかどうかは、カイ2乗検定とFishierの正確確率検定、無作為抽出検定などによって検証する予定である。</p>		

### 鳥類によって散布される種子の調査

藤田 薫(日本野鳥の会サンクチュアリセンター)・高橋 剛(横浜自然観察の森友の会)

調査場所 コナラの林・ミズキの道

調査日 フンの採集：1992年～1998年  
 フンの分析：2000年2月～3月  
 種子の同定：2000年5月～

調査開始 1995年      次年度 継続      終了予定 2001年

#### 調査目的

メンテナンスフリーの林づくりのための資料として、鳥類によって種子散布されている植物の種類を明らかにする。

#### 調査方法

冬期、巣箱をねぐらとして使用するシジュウカラのフンを、巣箱から集め、分析した。また、1年間、月に1度、アスファルト道路に落ちている鳥類のフンを集めて分析した。

#### 調査結果

シジュウカラの冬期のフンからは16種が、アスファルト道路のフンからは22種の種子が、確認された。なお、まだ同定できていない種子もあるため、引き続き同定を行う。

### キジの生態

調査者	： 林 暁 央 (はやし としを)	
調査場所	： 横浜自然観察の森	
調査日	： 2000年1月5日～2001年3月31日	
調査開始年：1997年	次年度予定：継続	終了予定年：未定

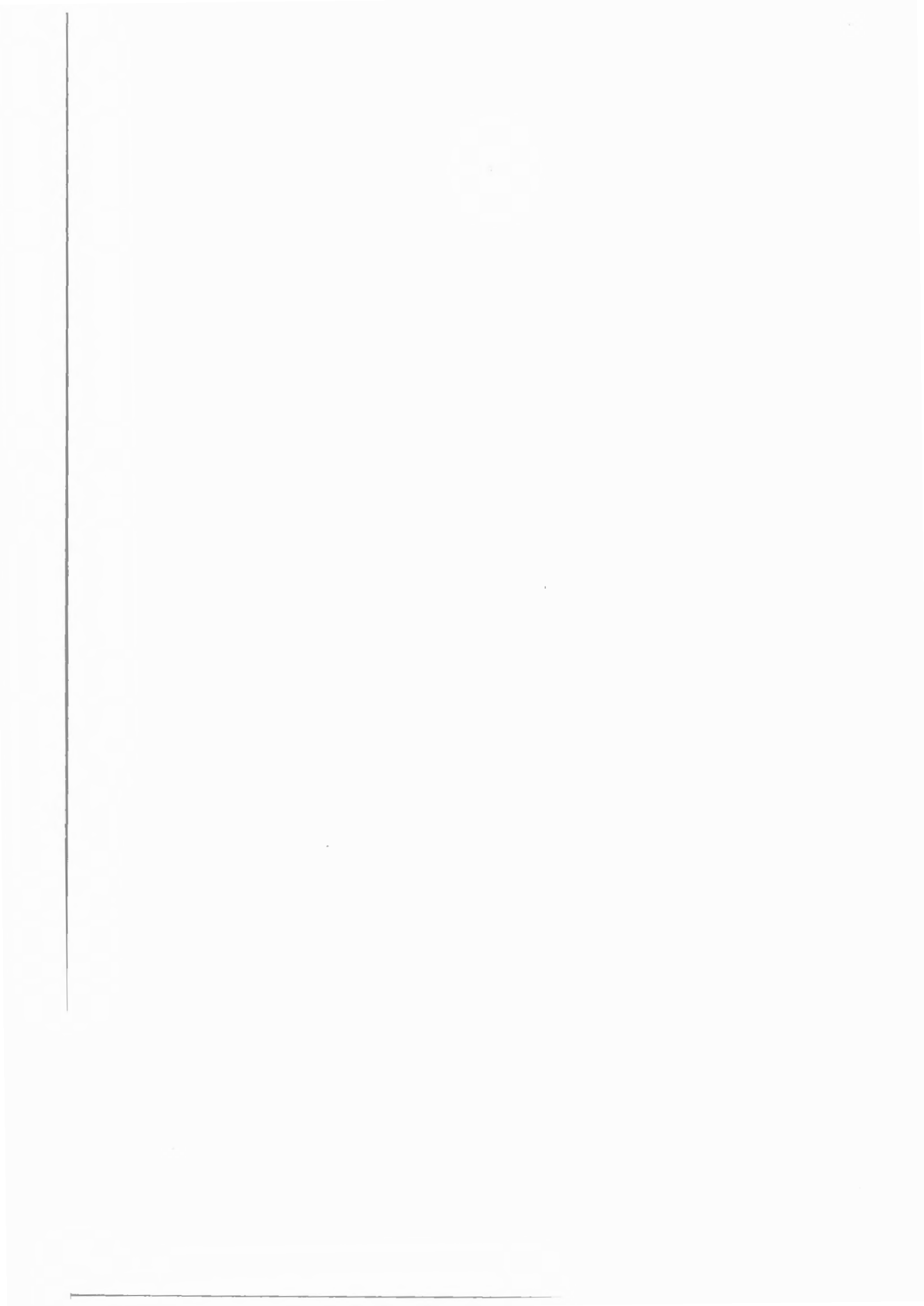


<b>自然情報収集調査</b>	
調査者	来園者, レンジャー, ボランティア
調査場所	園内全域
調査日	通年
調査開始	1986年                      次年度 継続
調査目的	<p>自然・生物の情報を収集し, 自然解説・行事, 一般来園者へのサービスとして活用する。また, 生物リストを作成する際の資料とする。</p>
調査方法	<p>来園者, レンジャーなど職員, ボランティアの確認した生物の情報を, 収集した。情報は, 種別・種名・確認年月日・確認内容・記入者を所定のカードに明記してもらった。これらの情報を月別に, 網別にまとめた。</p>
調査結果	<p>情報はカードに記入し, このカードは, 展示コーナーの自然情報ボードに最新情報として展示した後, 閲覧できるようにファイルした。また, 情報は入力して蓄積し, 2000年度版自然情報集を作成して, 閲覧できるようにした。</p>

<b>鳥類出現記録調査</b>	
藤田 薫 (日本野鳥の会サンクチュアリセンター) まとめ	
調査場所	園内全域
調査日	通年
調査開始	1986年                      次年度 継続
調査目的	<p>環境変化の指標として, 鳥相をモニタリングするには, 月2回のラインセンサス法だけでは記録できない種があるため, 補充調査として行う。また, 季節の生物情報として, 一部の情報をカード化し, 展示する。</p>
調査方法	<p>来園者, レンジャーなど職員, ボランティアの確認した鳥類の情報を, ほぼ毎日収集した。集計に際しては, これらの情報を月別にまとめ, その月の調査日数あたりの各々の種の出現日数を求め, 出現率とした。</p>
調査結果	<p>79種が確認された (生物リスト参照)。</p>

環境記録写真	
浪久裕子 (日本野鳥の会サンクチュアリセンター)	
調査場所	園内11カ所
調査日	8月2日
調査開始	1986年 次年度 継続
調査目的	環境の変化を、定点撮影による写真で記録する。
調査方法	園内11カ所 (調査報告書 5 参照) で環境を撮影した。

移入生物記録調査	
藤田 薫 (日本野鳥の会サンクチュアリセンター)	
調査場所	園内全域
調査日	2000年4月1日～2001年3月31日
調査開始	1998年 次年度 継続
調査目的	人為的に移入した生物を記録しておくことで、もともと生息していた生物やその後自然に移入してきた生物に対する人為的攪乱を明らかにしておく。
調査方法	前年にひきつづき、レンジャー、ボランティアへのアンケートと聞き取りにより、以前に移入した生物のリストを作成した。また、2000年度に新しく移入した生物の記録もリストにした。今年度は、主に、畑の作物について情報を収集した。



# 生 物 リ ス ト



## 花 暦 ・ 2 0 0 0 年

飯塚清道・伊澤嘉與子・大橋美智子・金井洋子・上村義枝  
 小泉光吉・高橋剛・高橋睦・高原弘子・高柳す江子・中西淳子  
 畑史子・八田文子・林由紀子・張間信子・古田理佳・松田久司  
 宗森英夫・村上拓司・矢追義人・山路智恵子・篠原由紀子（まとめ）  
 （横浜自然観察の森友の会 野草プロジェクト）

### < 定例調査のコース >

毎月第一金曜：センター→モンキチョウの広場→コナラの林→尾根→カシの森→尾根道  
 →コナラ21→センター

毎月第一土曜：センター→ピクニック広場→ミズキの谷→コナラの谷→ノギクの広場  
 →ヘイケボタルの湿地→センター

### < 凡 例 >

つぼみ : △      花 : ★  
 未熟な実 : ○      熟した実 : ●  
 葉だけ : ◇

△	△★	△○	★○●	△26
★	△★○	△●	△/★12	★22
○	△★○●	△○●	△16★22	△★20
●	○●	★○	△★16○22	△★○20

・ / の後は定例調査の日以外の日の記録

例1.一定例調査の日には蕾だったが12日には開花を記録した：△/★12

例2.一定例調査の日には記録されなかったが、30日には蕾を記録した：△30

・ 園内で観察できる場所が限られている植物は種名の右（）内に場所を記した

ア：アキアネの丘，オ：尾根道，カ：カシの森，ク：クヌギの林，ケ：ケソツの谷，

コ：コナラの谷，ス：炭焼き場，セ：生態園，ノ：ノギクの広場，ハ：畑，ヒ：ピクニック広場

・ 種名の網掛けは生態園で観察できた種

・ 昨年までの以下の種名を，同定しなおし，訂正した。

（昨年までの種名）→（訂正）

ヒロハクサフジ → ツルフジバカマ

アゼナ → アメリカアゼナ

クサコアカソ → コアカソ



種名	科名	4月17日	5月5,6日	6月2,3日	7月1,7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
アオカモシクサ	イネ	△★	△★	○●	○●								
アオキ	ミズキ	△★		○	○			△★○			○●	△	△●/★25
アオジツ(ハ)植栽	シソ												
アオツツラフジ	カヤツリグサ	○29			△★27	△★	△★	○/●24	●	●			
アオミズ	ワヅラフジ			△			△★26		○	○●			
アカガシ	イラクサ								●地面				
アカシテ 植栽	フナ	△★	★31	★			○	●	●				△24★28
アカシヨウマ	カバノキ		○8										
アカネ	ユキノシタ		★										
アカネスミレ(カ)	アカネ	△★					△/★15	△★○/●26	○●				
アカハバ	スミレ						△★	△★○	★○	○●			★28
アカメグシ	アカハバ						△★	△★○	★○	○●			
アカメグシ	トウダイグサ		△14	△/★10	★○	★○	○●	●					
アカカラマツ	キンポウゲ	△★29	△★	○	△★28	△★	△★○	△★	★○	○	●●	●	
アキグミ 植栽也	クミ			○	○	○	△★13	★○	○	○●			
アキミレ 植栽	ニレ						△	△★	○	○●			
アキノナギツカミ(ハ)	タデ							○	○	○●			
アキノエノコグサ	イネ									○			
アキノキノソウ(ハ)	キク						△★○	△★26	△★	○			
アキノタムラソウ	シソ				△★	△★○	△★○●	△★○	△★○	○●			
アキノゲシ	キノ						△★	△★	△★○	○●			
アキメシバ	イネ							★○	★○				△24★28
アケビ	アケビ	△★											
アササ 植栽	ミツガシワ		★14	★	★								
アジサイ植栽	ユキノシタ		△	△★	△★	○		△★	○				
アシボソ	イネ								○				
アスマイバラ	バラ	△29		★	○	○	○	○	○●	●	●	●	
アスマネギサ	イネ		★						○●				
アセカヤツリ	カヤツリグサ					△★22	○	○●	●				
アブラヤシ	クスノキ	△★	○	○	○	○	△★○●	△○	△	△	△	△	△★24
アメリカアゼナ(ア)	ナス				△★22		△★○●	△★○/●24	△★○●	○●			
アメリカイヌホオズキ	キク						△★	△★	○●	●			
アメリカセンダングサ	フナ								●地面				
アラカシ	アラカシ								★○25				
アリタソウ	アサザ												
アレンチギシ	タデ		△19	△★	○●	●							
アレチスズヒトハギ	マメ			★○8		△★27	△★○	●					
アワフキ	アワフキ	○16	○	★○8									△11★25
アンズ 植栽(ハ)	バラ		○15	○	○●	●							
イ	イグサ		△★27	○10	△★/○18	★○	△★	○	○●	○●			
イイギリ(他)	イイギリ												
イカホオズキ	ナス					△★17	△★	★○●	○●	○●			
イタドリ	タデ						△★	○	○●	○●			
イタビカズラ	クワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

赤 薄茶 黒茶 赤茶 茶 黒茶 薄茶 赤茶

種名	科名	4月17日	5月5,6日	6月2,3日	7月1,7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
イタヤクワ	カエデ	△★28	○	○	○	○	○	○	○				
イチャクソウ(カ)	イチャクソウ	★12	△	△/★10	○	○	○	○	○				
イチリンソウ 植栽(ク)	キンポウゲ	△23											△
イヌガヤ	イチャクソウ	△26	△★3	★○	△★○/●24	★○●	△★	△★○	★○●	○			
イヌガラシ	シソ	△★	○●										★24
イヌコリヤナギ 植栽	バラ	△17	△★/○14	○	○	○●	●	○	○	○			
イヌザクラ	ミカン	★	○	○	○	○	○	○	○	○			△★28
イヌザンショウ	カバノキ		○	○	○	△	△	△★○	○	○	○	○	
イヌシロウマ	キンポウゲ		○	○	○	△	△26	△★○	○	○	○	○	
イヌセンブリ(ク)	リンドウ		○	○	○	△	△★○	△★○	○	○	○	○	
イヌタデ	タデ		△/★31	△★/○30	○	○	△★	△★○	△★○	○	○	○	△★
イヌツバ 植栽(カ)	モチノキ												
イヌトウバナ	シソ												
イヌビエ	イネ		△○●15	△	△	★	○	○	○	○	○	○	
イヌビワ	クワ		△	△	△★29								
イヌホオズキ	ナス		△★			△★○17							
イヌムギ	イネ	△29											
イネ	イネ												
イネタノキ	モクセイ		△/★24	△★○	○	○	○	○	○	○	○	○	
イロハモミジ 植栽(カ)	カエデ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△24
ウグイスカグラ	スイカズラ	△★	○/●3	○●									△★11
ウシノツバ	イネ					★	○	○	○	○	○	○	
ウシハコベ	ナデシコ	★17	△★	★○●	△★○●			△★○	△★	○	○	○	
ウスゲチヨウジタデ	アカハバ						△★○/●26	○	○	○	○	○	
ウツギ	ユキノシタ	△28	△/★24	△★○	○	○	△★/○26	○	○	○	○	○	
ウド	ウコギ				△/★○29	○	○	○	○	○	○	○	
ウハユリ	ユリ			△★	△★○	○	○	○	○	○	○	○	
ウマノミツバ	セリ												△★
ウメ 植栽	バラ												△28
ウラボシマツク	サトイモ	★	○	○	○	○							
ウラボシマツク	キク		△★○●	○	○	○							
ウラボシマツク	イラクサ	△	○	○	○	○							△28
ウラボシマツク	バラ	△★○28	○	○	○	○							△25
ウラボシマツク	ヤナギ												★25
ウラボシマツク	エゴノキ		△/★19	★○	○	○							
ウラボシマツク	タデ			△★10	△★○	○							
ウラボシマツク	ニレ	△26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ウラボシマツク	トウダイグサ						★	○	○	○	○	○	
ウラボシマツク	イネ				○	○	★○13	○	○	○	○	○	
ウラボシマツク	エビヅル		△★	△★○	△★○●	△★○●	△★○●	○	○	○	○	○	
ウラボシマツク	ラン		★3	○	△15★29	△★	△★○	★○	○	○	○	○	
ウラボシマツク	マメ												
ウラボシマツク	ユリ		★										
ウラボシマツク	オオアマノコ 園芸種												
ウラボシマツク	オオアレチノギク												
ウラボシマツク	オオイヌソバ	△★○	△★○	★○●	★○	△★/○●19	△★○●	△★○●	△★○●	○	○	○	△★/○24
ウラボシマツク	オオオナモミ												
ウラボシマツク	オオクサキ			△15★27	△★	△★○	△	★○	○	○	○	○	
ウラボシマツク	オオシシハリ	△★23	△★										
ウラボシマツク	オオシシハリ	△★	○/●11	○●					★				△★25

黒

茶

茶

黒

黒

黒

薄茶

褐色

紫

薄茶





種名	科名	4月17日	5月5,6日	6月2,3日	7月1,7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
カラムシ	イラクサ					△27	△★	○	○	●			
カワラスガナ	カヤツリグサ						△	○	○				
カワラナシヨ	ナデシコ				△★18	△★/○27	△	○	○				
カワラヨモギ(ノ)	キク					△	△	△	△★	○	●	●	
カンガレイ 植栽	カヤツリグサ			★22	★○	★○	○	○	○	○	●	●	
ガクヒソウ	キク					△/★22	△★	★○	●/★26	●	●		
カントウカンアオイ	ウマノスズクサ	○					△★26	★	★	★	★		
カントウタンポポ	キク	★	△★○					△★					
カントウヨメナ	キク								△★23				
キクタニギク 植栽(他)	キク												△★25
キクハドコロ	キク		△★										
キジムシロ(カ)	バラ	△★											
キシヨウブ	アヤメ		★17	○	○	○		★○11					
キタチコンギク	キク							○26					
キツクウハグマ	キク						△26	△	○	○	○	○	○
キツタ	ウコギ	○●											
キツネノカミソリ 植栽(ノ)	ヒガンバナ					△★○	○						
キツネノボタン(木)	キンポウゲ			△★○10	★○	○							
キツネノマゴ	キツネノマゴ					△★19	△★○	★○	★○	○	○		
キハギ	マメ			△/★27	△★	△★○	△★○	△	△	△	△		△★/○31
キブシ	キブシ	★/○29	○	○	○	○	○	△	○	○	○		△★28
キユウリグサ	ムラサキ	△★26	△★○					△	△	△	△		
ギョウギシバ	イネ	△★	★○	★		○●	○						△★
キラソウ	シロ												
キレハンダドウ(他)	ドウ					△★○	△★○						
キンエンゴロ	イネ						★	○	○	○			
キンカン 植栽(ハ)	ミカン					★○	○	○	○	○	○		
キンミスヒキ	バラ			△★29	△★○	△★○	△★○	△★○	★○	★○	○		
キンモクセイ 植栽	モクセイ							△★					
キンラン	ラン		△★	○	○								
キンラン	ラン	△★19	△★○	○	○		○			○			
クサイ	イグサ		△★○	★○	○	○	○						
クサイチゴ	バラ	△★		★									
クサギ	クマツヅラ				△★29	△★	△★○	△★○	●	●			
クサボタン(カ)	キンポウゲ						△26	△★					
クサヨシ	イネ		△★27	★	●								
クサレダマ 植栽(ハ)	サクラソウ		△	△	△★	○	○	○	○	○	○	○	
クズ	クズ		△/★19	○					●地面				
クスノギ 植栽	クスノギ												
クスギ 植栽も	フナ		△	△/★8		○	○	○					
クマノミズキ	ミズキ	△★29			△★	★○	○	○					
クマヤナギ	クマヤナギ				△★	○	○	○	○	○	○	○	
クララ	マメ			△★	○	○	○	○	○	○	○	○	
クリ 植栽も	フナ			△★	○28	○	○	○	○	○	○	○	
クロガネモチ 植栽(他)	モチノキ			★○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロマツ 植栽も	マツ	△/★14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クロモジ	クスノギ	△★	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
クロヤツシロラン	ラン												
クワクサ	クワ						△★13	△★○	○	○	○	○	
ケイワタバコ	ケイワタバコ		△27	△/★10	△★○	○							
ケカマツカ	バラ	△28	△★	○	○	○							

黒に金色の毛

種名	科名	4月17日	5月5日	6月23日	7月17日	8月4日	9月1日	10月6日	11月3日	12月1日	1月5日	2月3日	3月23日	
ケキツネノボクシ	キンポウゲ	△★17	△★0	★0	★0								△★11	
ケマツリグサ	スミレ	★	○	○	△★0								△★28	
ケムラサキニガナ	キク	△★16	○	○	△★0	★0	○	○	○	○	△			
ケヤキ 植栽	ニレ	△★16	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ケヤマハシノキ 植栽(他)	カハノキ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ケンシヨウコ	アウロモウ		△★30	△★	△★0	△★	△★0	★0	★0	○	○			
ケンボナシ	クワウメモドキ			△★		△★				○				
コアソ	イラクサ			△★		△★								
コウガイゼキショウ(他)	イグサ		△★20	★0	○									
コウブク	キク	△★30	△★	△★0	△★									
コウヤボウキ	キク		△★	△★0	△★									
コガマ 植栽	ガマ			○	△★15	○		△★	★0	○	○			
コササキ	ミカン	△/★9	○	○	○	○								
コメクツギ	バラ	△26	△★	○	○	○								
コマギヤツリ	カヤツリグサ					△19								
コマタマ	カヤツリグサ					○								
コメガマ(1)	カヤツリグサ					△★								
コスミレ	スミレ	△★		●									△★20	
コスモス	キク				★									
コシシキソウ	キク		★19	★	△★	△★0	△★0	△★0	△★0	△★0	△★0	●	●	
コナスピ	サクラソウ		○	○	○	○								
コナラ 植栽(他)	ブナ	△16	○	○	○	○	○	○/●26	○/●20					
コニシキソウ	トウダイグサ					△★17	△★0							
コハコベ	ナデシコ	△★0	★0	○	○									
コバノガマズミ	スイカズラ	△★26	★0	○	○									★0
コバノツツミ	シロ	△★16	△★0	△★	△★	○	○	○	○	○				
コヒルガオ	ヒルガオ	★	★30	△★	△★	○	○	○	○	○	○	△	△★24	
コブシ 植栽	モクレン					○								
コバナグサ	イネ				△★	△★	△★	△★0	△★0	○				
コマツナギ	マメ				△★	△★	△★	△★0	△★0	○				
コマツヨイグサ	アカバナ		★24	△★	★	△★0								
コマユミ 植栽	ニシキギ	△16	★11	○	★	△★								
コマツアツメクサ	コマツ	△★28	△★	★0	★0	△★								
コメシバ	イネ				△★	△★								
コシバ	ペンケイソウ	△28	△/★12	★0	★	★								
コシバ	ミツバツツギ				○	○								
コシバ	ラン		△12★24	★		○								
コシバ	イネ													
コシバ	ラン		★10	○	○	○								
コシバ	ツバキ		○	○	△/★28	△★								
コシバ	ツツジ		△★31	△★	★	△★								
コシバ	バラ	△★	★											
コシバ	モクレン													
コシバ	キンポウゲ		○	○	○	△								
コシバ	ユリ	△★	○	○	○	○								
コシバ	マタヒ	△12/★27	△★/○15		○	○								
コシバ	カヤツリグサ		△★31	△★	△★	△★								△★28
コシバ	ブドウ		△											
コシバ	スイカズラ		△	△/★15	○	○								

種名	科名	4月17日	5月5,6日	6月2,3日	7月1,7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
カンショウ	ミカン		△★										
シオデ	ユリ				△★	★	○	○	●	●			
シシウド	セリ				△★	△★	★○	○	●	●			
シナダレスズメガヤ	イネ			△★									
シバ	イネ		★14	○	△★○								△11★25
シバヤナギ	イネ	△★○	○			★○	○	○	○	○			
シマスズメノヒエ	イネ	△★	△★/○14	○									
シヤガ 植栽	アヤメ	△★	★11										
ジャケツツイバラ	マメ												
ジャノヒゲ	ユリ				△★	○	○	○	○	○	●	●	
シユウブソウ	キク						△★	★○	○/●26	○/●26			
シユロ	ヤシ							●	●	●			
シユシラシ 植栽も	ラン												△/★21
シラキ 植栽も	トウダイグサ		△	○	○	○	○						
シラゲガヤ	イネ			△/★10	★○								
シラヤマギク	カヤツリグサ	★29	★○	○			△/★26						
シラヤ	キク	△16	△★	△★	○	△	△★	△★	★	●	●		
シロザ	ラン							★○	○	○			
シロタモ	アカザ				○	○	△	○	○	○			
シロツメタサ 植栽も	クスノキ	△★23	△★	○	○	○	△	○	○	○			
シロバナタンポポ 植栽も	マメ	△★	△★	△★○	★○	△★○		△	○	○			
シロバナハンショウツル	キク	△★	★							○			★○/●28
シロヨメナ	キンポウゲ	△★16			△★	△	△	△★	△★	△★○	●		
シントツボウユリ	キク												
スイカズラ	ユリ		△/★24	△★		△★15	○	○	○	○			★
スイセン	スイカズラ				△★								
スイバ	ヒカシバナ	△17	△★○	○	○	○							
スギ 植栽	タデ	○	○	○	○								
ススキ	スギ	○	○	○			△	△	△	△			
スズメウリ	イネ				★		△★○	△19	○	○	○	○	△★24
スズメノカタビラ	ウリ	★20	△★	○									
スズメノチャヒキ	イネ			△★	★								
スズメノテツボウ(7)	イネ			△★									
スズメノヒエ	イネ			△★				○					
スズメヤリ	イネ	★○	★○	●									△★25
スダジイ 植栽も	イグサ	★○	△★14	○									
スハマツツ	フナ	★○		○	○	○	○						△★/○28
セイタカアワダチソウ	キンポウゲ												
セイバンモロコシ	キク						△	△★	△★○	△★○	△	○	
セヨウタンポポ	イネ	★12	△★○	★○	★		★	★○	○				★28
セキショウ 植栽	サトイモ	△★23	○										
セリ	セリ				△/★18	★○	○						
センシツウ	キンポウゲ	△★				△/★15	△★○	○	○	○			△★24
ソメイシノ 植栽も	バラ		○/●11	○									
タチアザミ	キク												
ダイコンソウ	バラ		△★22	△★○	△★○	△★○	△	△★	△★○	★○	●		
タカサブロウ	キク						★○	★○	★○	★○			
タコアシ 植栽	ユキノシタ						△★○	○	○	○	○	○	
タシロラン	ラン				★	△★	△★○	○	○	○	○		
タチイヌソウガリ	ゴマノハグサ	△★	△★○	△★○									△★○28



種名	科名	4月1.7日	5月5.6日	6月2.3日	7月1.7日	8月4.5日	9月1.2日	10月6.7日	11月3.4日	12月1.2日	1月5.6日	2月2.3日	3月2.3日
タチカモジグサ	イネ	△★	★○	●15	●								
タチツボスミレ	スミレ	△★	★○	○	○	○	○	○					△★16
タニツギ 植栽	スイカズラ	△★	△★	○	○	○	○	○					△★○
タネツケバナ	アブラナ	△★○/●21	★○										
タネツギ 植栽も	ウスノキ		△★14		○								
タマアジサイ	ユキノシタ				△29		△★○	△★○	○	○			
タマフヤツリ	フヤツリグサ					△★19	○	○	●26				
タラノギ	ウコギ					△17	★○	●	○	○	●		
チカラヤ	イネ	△★22		★○●	●		★13	●	○	○	●		
チカラシバ	イネ					△★22	△★○	△★○	○	○	○		
チヂミグサ	イネ						△★○	○	○	○	○		
チドメグサ	セリ			★○	○		△	△★○●					
チヤノキ 植栽	ツバキ	●		○	○	○	△	△★○●					
ツクハトリカブト?	キンポウゲ								★19				
ツクハネウツギ	スイカズラ		△★○	○	○	○	○	○	○				
ツツジ 植栽	ツツジ	△★	★					△	△	△★	△★	△★	△★
ツバキ園芸種 植栽	ツバキ	△★	★										
ツボクサ(オ)	ツボクサ(オ)	★28	△★										
ツボクサ(オ)	スミレ		★19										
ツメクサ	ナデシコ		★	★○	★○								
ツユクサ	ツユクサ			★		★○●	△★○	★○●	○				
ツキヨウ	キキョウ					△★20	△★	△★○	○				
ツリガネニシジシ	ツリガネニシジシ		△★/○31	○	○	○	○/●26	●					
ツリバナ	ニシキギ			○	○		△★26	△★○	★○●				
ツリバナソウ 植栽も(ク)	ツリバナソウ			○	○	○	○	★○	○		●		△24★28
ツルギメイトキ	ニシキギ			○	○			★○			○	○	○
ツルカノコソウ	オミナエシ	△★	△★○	○									
ツルガミ	タミ	○	○										
ツルニンジン	キキョウ								△★				
ツルフジバカマ(ク)	マメ						△/★○26	★○	○				
ツルギ	ユリ					△★27	△★	★○	○				
ツルマサキ	ニシキギ	△	△	★	○	○	○	○	○/●25	○			
ツルマメ	マメ						△★	○	○	○	○		
ツラフキ(ク)	キク								★				
ツライカズラ	キョウチクトウ		△/★31	△★	○29	○	○	○	○	○	○		
ツリハノイハラ	バラ		△										
ツリミノイヌホトズキ	ナス						△★○	△★○●	★○●				
ツルツギ	カヤツリグサ						★○	●					
トウギボウシ(ク)オハ	ユリ				△★/○29	○	○	○	○				
トウクミ 植栽	グミ	△★12	○/●30										
トウクミ 植栽	ツツジ	△★13	○	○			○	○	○	○			
トウネズミモチ 植栽	モクセイ		△19	△	△★9	○	○	○	○				
トウハナ	シソ	△28	△★	○	○	△★○●	●	△★	★○	★○	●		
トキリマメ	マメ				△	△★○	△★○	○	○	○	○	●	
トキワツユクサ	ツユクサ				★○	★							
トキワハセ(ク)	ゴマノハグサ	△		△★									
トククツギ	ドククツギ		△/★31	△★	○	○	○	○	○	○			
トクダミ	ドクダミ			★		△	△★○	○	○				
トクシバ	イネ		△/★15	★	○		△★○	○	○	○			
トベラ 植栽	トベラ		△★	○	○		△★○	○	○	○	○	○	○
トボシカウ	イネ		△★	○	△★○	★○	△★○●	△★○●	○	○			
ナガハハエドクソウ	ハエドクソウ			△★	△★○	★○	△★○●	△★○●	○	○			

茶

白  
薄茶

薄茶

黒(金の毛)

赤

褐  
黒紫

赤

赤

灰色

種名	科名	4月17日	5月5,6日	6月2,3日	7月7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
ナガミヒナゲシ	ケシ	★26											
ナギナタガヤ	イネ				○●								
オギリヌギ	カヤツリグサ						★	○	○●	○●	●		△★○20
ナスナ	アブラナ	△★○											
ナツクミ 植栽(ク)	グミ	△★12		●							△		△11★24
ナツクミ	トウダイグサ	△★	○										
ナルユリ	ユリ	△	△/★19	★	○								
オウジョイソゴ	バラ	△/★19	△★	△★	○●			△/★24	△★	△★○	○	○	○
オウシログミ	グミ	○							●16				
オウシ	メギ			△/★30	△★	○		★○					
ナンハンギセル	ハマウツボ						△★						△★25
ネオイタチツボスミレ	スミレ	△★											
ネガイネ(他)	バラ	△★23	△★										
ネガキ	二ガキ	△★	△★	○15	○	△★○	○						
ネガクサ	シロ				△★18								
ネガナ	キノ		△★	★									
ネシギキ 植栽	ニシギキ	△★30	△★	○	○	○	○	○	○	○	●		△★28
ネリンノウ 植栽(ク)	キンポウゲ	△★					★						
ネワセキシヨウ	アヤメ	★	△★	△★	△★								△/★28
ネワトコ	スイカズラ	△★	○	○●									
ヌカキビ	イネ						△26	△	○●	○●			
ヌカトハギ	マメ					△★17	△★○	★○	○●	○●			
ヌルヲ	ウルシ				△29	△	△★	○	○●	○●	●		
ヌシバナ	ラン			△★18	△★○								
ネスミノオ	イネ					△	△★○●	○●			○●		
ネスミムギ	イネ		★15	★○									
ネズミ毛 植栽も	モクセイ	△	△	△★	△★○	★○	○	○	○●	○●	○●		
ネムノギ	マメ			△/★30	△★	○	○●	○●	○●	○●	○●		
ノイバラ	バラ	△★	△★	○	○	○	○	○	○●	○●	○●	○●	
ノカリヤス	イネ						△						
ノゲシ	キク	△★28	△★	★○	★								
ノシギク	キク						△26	△★	△★○	★	○●		
ノササゲ	マメ						△	△★○/●24					
ノストラノ(ク)	サクランソウ			△8★18	△★○		○	○	○	○●			
ノダケ	セリ						△/★26	△★○	○	○●			
ノベル	ユリ		△										
ノボドウ	アトウ		△19	△/★10	△★	△★○	△★○	○●	○●				
ノミノツリ	ナデシコ		★○	★○●									
ノリウギ 植栽	ユキノシタ			△	△★	○		○●	○●	○●	○●	●	
ノイメハギ	マメ							○●	○●				
ノキタメキク	キク			△★	★	△★○●							
ノコネウツキ	スイカズラ	△/★11	△★	△★○	○	○	○	○	○●	○●	○●		
ノコネウツキ(他)	ナス	★13	△★	△★	△★	△★	△★	△★	△★	○●			
ノシカグサ	アカネ						△★/○26	○					
ノセノキ	ウルシ												
ノタカホオズキ	ナス			△★○	△★○	△★○	△★○	○●	○●	○●	○●		
ノタサオ(ク)	アブラナ							△★○					
ノツカ(ク)	シロ				△29		△★	△★○					
ノナイカダ	ミズキ		★○	○	○●								
ノナイハナ	ムラサキ	△★26		○									
ノナツツバハネウツギ	スイカズラ			△★	△★	△★○	△★○●	△★○●	○				

赤・黄  
茶  
赤  
褐  
白  
褐色  
薄茶  
赤

熟した実の色  
ピンク

種名	科名	4月17日	5月5日	6月23日	7月17日	8月4日	9月12日	10月6日	11月3日	12月12日	1月5日	2月23日	3月23日
ハナタテ	タテ						△★	△★	○	●			
ハナミズキ(他)	ユリ	★9						△★	○	●			
ハナミズキ 植栽	ミズキ	△★21						△	△★	○	○	○	○
ハマヒサカキ 植栽	ツバキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハリエンジュ 植栽	マメ	△★	△★	○	○	○	△★24	★	○	○	○	○	○
ハリギリ	ウコギ	△★	△★	★	○	○	△★24	★	○	○	○	○	○
ハルシオン	キク	△★	△★	★	○	○	△★26	★	○	○	○	○	○
ハンゲシヨウ	トクダミ												
ハンシヨウツル	キンポウゲ												
ハンノキ 植栽	カバノキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハイラギ 植栽	モクセイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒゲキカシヤク 植栽(他)	メギ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒエガエリ	イネ	△★	△★12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒカゲスゲ	ヒコ												
ヒガンバナ	カヤツリグサ						△★29	△★	○	○	○	○	○
ヒガンバナ 植栽(他)	ヒガンバナ						△★19	○	○	○	○	○	○
ヒヨクサ	カヤツリグサ	★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒサカキ	ツバキ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒナタインコツチ	ヒユ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒノキ 植栽	ヒノキ	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメウス	キンポウゲ	△★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメオドリコソウ	シソ	△★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメガマ 植栽	ガマ	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメカシスゲ	カヤツリグサ												
ヒメクダ	カヤツリグサ												
ヒメコウソウ	クワ	△	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメコバンソウ	イネ	△★	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメジョオン	ヤマノイモ												
ヒメドコロ	クワ	△	△★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメミカンソウ	トウダイグサ												
ヒメムカシヨモギ	キク												
ヒメモロコシ	イネ												
ヒメヨツバムグラ	ユリ												
ヒメヨウヤナギ	アカネ												
ヒヨドリバナ	オトギリソウ												
ヒラカンサ	キク												
ヒルガオ	バラ												
ヒロハホウキギク(ア)	ヒルガオ												
フキ	キク	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フクジュソウ 植栽(他)	キンポウゲ												
フジ 植栽(他)	マメ												
フタクサ	キク												
フタナ	キク												
フタリスカ	センリョウ												
フネリソウ(他)	リンドウ	★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フトイ 植栽(他)	カヤツリグサ												
フリソデヤナギ 植栽	ヤナギ	★	△★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヘクソクソウ	アカネ												
ヘビイチゴ	バラ	★	★	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

黒 薄茶 茶 薄茶 灰褐 褐 金茶



種名	科名	4月17日	5月5.6日	6月2.3日	7月1.7日	8月4.5日	9月1.2日	10月6.7日	11月3.4日	12月1.2日	1月5.6日	2月2.3日	3月2.3日
ヘラオオバコ	オオバコ	△★19	△★0	△★0	△★0	△★0	△★0						
ヘラオモダカ	オモダカ	△★19	★0	○	○	○	△★0	●					
ホウキヤクソウ	ホウキヤクソウ	△★19	★0	○	○	○	●	★18					
ホシクサ	ホシクサ												
ホソネスミムギ	イネ				○	★							
ホソバキノゲシ	イネ				○	★							
ホソムギ	イネ				★0		△★24	△★0	○				
ホタルカスラ	ムラサキ	△★	△★/○19	○	★0								
ホタルブクロ	キキョウ	△★	△/★8	★0	★0	★0							
ホドモ	マメ						△★0						△/★20
ホトケノザ(ハ)	シロ	△★	△★										
ホトトギス	ユリ						△26	△★	△★0	★0	●		
ホントクダ	タデ						△	△★0	○	○			
マスコサ	カヤツリグサ		○	○									
マテハシイ	フナ							○					
ママコノシラスグイ	タデ					△★	△★0	△★0					
マムシグサ	サトイモ		★0	○	○	○	○	○					
マユミ	ニシキギ	△	△/★24	★0	○	○	○						△28
マルバアオダモ	モクセイ	★23	★0	★0	○	○	○	○					
マルバウツギ	ユキノシタ		△★	★0	★0	○	○	○					
マルバシキリソウ	バラ		△/★15	★0	○	○	○	○					
マルバハハギ	マメ		△10★17	△★	△★	△★0	△★	△★0	○				
マルバヤハスソウ	マメ					△★0		○					
マシロウ	ヤブコウジ				△	△★0							
ミスギ	ミスギ	△16★28	△★/○14	○	○	○	○	○					
ミスギ	アカバナ					△★0	△★0	○					
ミスギ	タデ				△★19	△★0	△★0	△★0					
ミスギ	イネ	△	△★0			△★0							
ミスギ	タデ					△★17	★						
ミスギ	ミツバ												
ミスギ	ミツバ	△★13	○	○									
ミスギ	ミツバ												
ミスギ	アケビ	△★		○		○	○	○					△/★24
ミスギ	バラ	△★23	★0	○		○	○	○					
ミスギ	ナデシコ	△★	△★0	△★0									
ミスギ	マメ		△★	△★8	△★	○	△★	○	○	○			
ミスギ	マメ		△★	△★0	★0	○	△★	★					
ミスギ	キク		★	★									
ミスギ	ラン				△28	△	△★	○					
ミスギ	スライカスラ	△★26	○	○									
ミスギ	ユリ	△	△★/○12	○									△25
ミスギ	アオイ					△★	★						
ミスギ	ニレ		★	○	○	○	○	○					
ミスギ	サトイモ	★23				○							
ミスギ	アケビ	△★16	○	○	○	○	○						
ミスギ	イネ												
ミスギ	ケシ	△★	★0	★									
ミスギ	ゴマノハグサ	△★19	★	★									
ミスギ	クマツヅラ		△18	△/★10	△★0	○	○	○					
ミスギ	マメ		△★	△★0	△★0	△★0	△★	○	○	○	○		
ミスギ	メタセコイヤ												●

黒紫

薄茶

黒  
薄茶  
黒  
茶

黒紫

熟した実の色

種名	科名	4月17日	5月5,6日	6月23日	7月1,7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
メハギ	マメ	●											
メナモミ	キク						△★	△★	○				
メヒシバ	イネ						△★13	△★	○				
マツヨイグサ	アカバナ				△★/○27	△★	△★	△★	○				
マアブマオ	イラクサ				△	△/★17	○	○	○				
メリケンカルカヤ	イネ						○	○	○				●
モチノキ 植栽も	モチノキ	△★16○28	○	○	○	○	○	○	○				●
モツコク	ツバキ	△★	△31	△/★27									
モミシイチヨ	バラ	△★	○	●									
モミシガサ	キク	△★	△19	○	○	△	△/★26	△★				△	△★24
モモ 植栽(他)	アカネ	△★	△★16	○	○								△24
ヤエムグラ	バラ	△★16	△★16	○	○								△★24
ヤエヤマフキ 植栽も	キク												
ヤクシソウ	ウコギ	○	○										
ヤツテ	タデ	○						△★	△	△★			○
ヤナギタデ	マメ												
ヤハスソウ	ブドウ						△★	○	○				
ヤラオシ	ユリ			△/★10	△★	△★/○●17	△★	○	○				
ヤブカンツク(他)	セリ			△	△★	○		△★	○				
ヤブコウジ	ヤブコウジ			△	△★	○		○	○				
ヤブシラミ	セリ				△★	★		○	○				
ヤブスゲ	カヤツリグサ			○	○								
ヤブタバコ	キク	★17	△★	○	○			△★	△★				●
ヤブタビラコ	キク	★	△★	△★									△★
ヤブツバキ	ツバキ												
ヤブツルアズキ	マメ												
ヤブデマリ	スイカズラ		△★	○	○	●		○	○				
ヤブニツケイ	クスノキ		△31	△									
ヤブニツジン	セリ	△★17	○	○									
ヤラベヒイチヨ	バラ	△★	△★	★	★	★		○	○				
ヤラマオ?	イラクサ				△	★							△★28
ヤラマオ	マメ					★							
ヤブミヨウガ	ツユクサ					△★		△★	○				
ヤブムラサキ	クマツヅラ		△19★31	△★	○	△★		○	○				
ヤブラン	ユリ		△	△/★10	★	△★		○	○				
ヤマアジサイ	ユキノシタ				★	★		○	○				
ヤマイ	カヤツリグサ				★	★		○	○				
ヤマウコギ	ウコギ		○	○									
ヤマクワ	クワ	△★16○23	○/●15	○		●							
ヤマコウバシ	クスノキ		○	○	○	○		○	○				
ヤマザクラ	バラ	△★	○/●11	○				○/●26	○				△★25
ヤマツツジ	ツツジ		△★										
ヤマニガナ	キク				△★	★							
ヤマノイモ	ヤマノイモ				△★	△★		○	○				
ヤマハギ	マメ				△★29	△★		○	○				●
ヤマハセ 植栽も	ウルシ		△/★31	★	△★16	△★		○	○				●
ヤマハタザオ	アブラナ		△★		○	○							●
ヤマハツカ	シロ							△★26	△★				
ヤマブキ 植栽も	バラ	△★9	△★24	★				△★	○				
ヤマボウシ 植栽	ミスキ		△★24		○	○							
ヤマボトトギス	ユリ				△★29	○							●

茶 黒茶 薄茶 黒 赤 グレー 茶 紫→褐 黒茶 黒茶

種名	科名	4月1,7日	5月5,6日	6月2,3日	7月1,7日	8月4,5日	9月1,2日	10月6,7日	11月3,4日	12月1,2日	1月5,6日	2月2,3日	3月2,3日
ヤマミズ	イラクサ							△★	○●				
ヤマムグラ	アカネ		△	★○									
ヤマモモ 植栽	ヤマモモ	△★	○14	○	●					△	△		△/★28
ヤマユリ	ユリ			△	△★	○		○	○	○●			
ヤマラッキョウ	ユリ							△	△/★26	○	●		△/★24
ヤマリソウ(口)	ムラサキ	△★	○	●									
ユキノシタ	ユキノシタ		★18	△★	★○								★21
ユキヤナギ 植栽	バラ	△★	○										
ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	△★					△★○	○●	○●				
ヨコレネコノメソウ(口)	ユキノシタ	△★	○●										△24★28
ヨツバムグラ	アカネ			○									
ヨモギ	キク					△27	△/★26	△★	★○	★●	●●	●	
リュウノボキク	キク							△26	△★	★	●●		
リュウブ 植栽(他)	リュウブ			△/★27	△★		○		○	★	●		
リンドウ	リンドウ							△	△★		●		
レモンエゴマ	シソ							△★○	○				
ウルチスビ	ナス				△★除去			△★○	★○				
ウレモヨウ	バラ					△	△★○	△★○●	★○				
その他													
コモチシタのこども	シシガシラ							あり					
オオハナワラビ	ハナワラビ						あり	あり	あり	あり			
フユノハナワラビ	ハナワラビ						あり	あり					
イヌドクサ 胎子囊	トクサ		あり	あり	あり		あり	あり					
ツクシ	トクサ	あり											あり28

黒

黒



月別園内鳥類出現率 (%) (2000年4月から2001年3月)

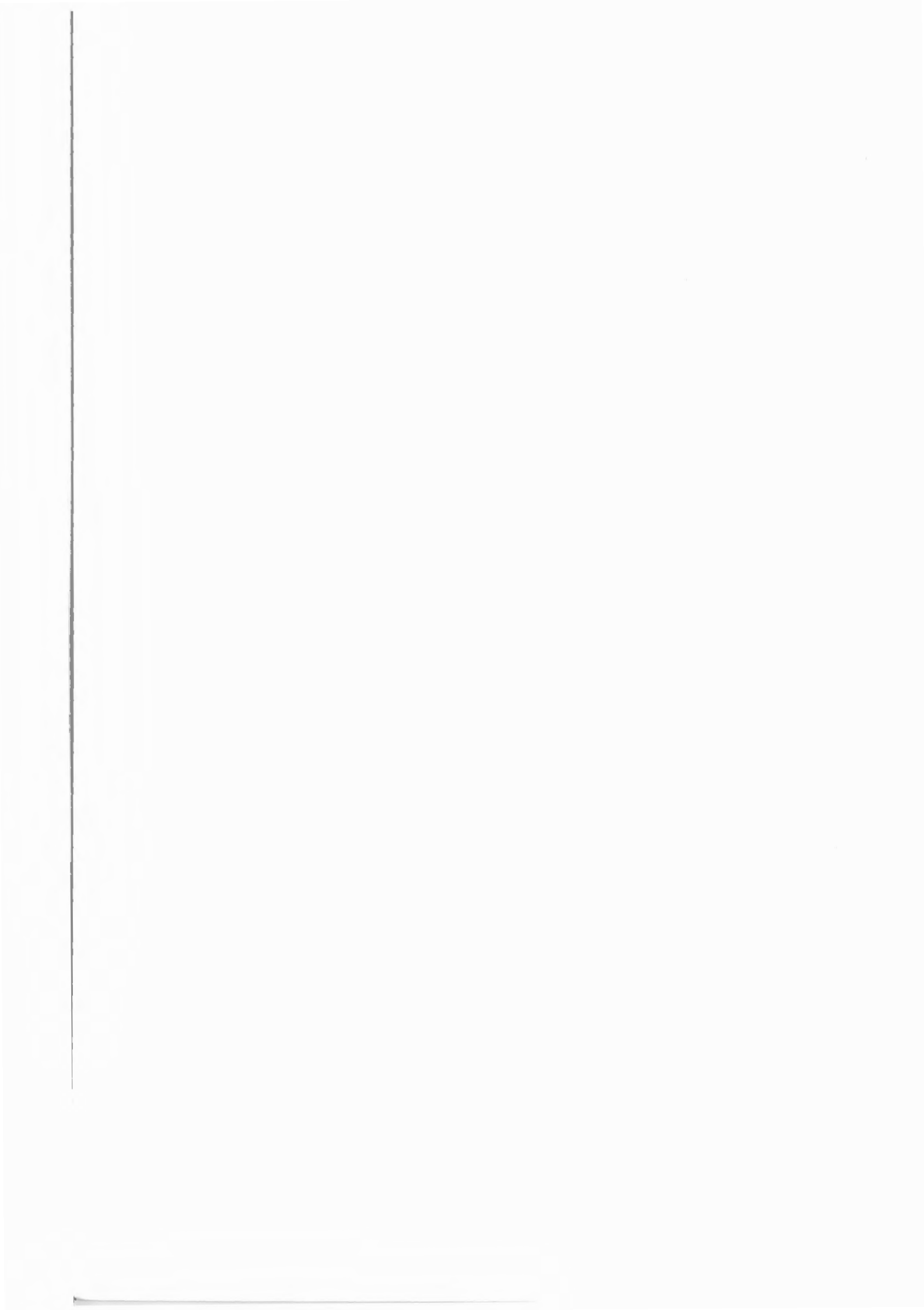
空白は、0.0を示す

No	科名	種名	出現率%												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	ウ	カワウ									3.3			18.5	
2	サギ	ゴイサギ		3.4											
3	サギ	ダイサギ								3.3					
4	サギ	コサギ								10.0		4.0			
5	サギ	アオサギ	7.1		3.4				3.4	3.3					3.4
6	ガンカモ	オシドリ				6.7	20.0	10.3	13.3	6.7			8.0		
7	ガンカモ	マガモ								3.3					
8	ガンカモ	カルガモ	17.9	3.4	3.4		3.3	6.9						7.4	
9	ガンカモ	コガモ	7.1							3.3					
10	ガンカモ	ヒドリガモ											8.0		
11	ワシタカ	ハチクマ		3.4				3.3							
12	ワシタカ	トビ	85.7	75.9	58.6	76.7	66.7	51.7	80.0	80.0	96.0	100.0	88.9	93.1	
13	ワシタカ	オオタカ	3.6		3.4				10.3	6.7	10.0	4.0	8.0		
14	ワシタカ	ツミ							3.4						
15	ワシタカ	ハイタカ						3.3				8.0	8.0		
16	ワシタカ	ノスリ								3.3	10.0	20.0	28.0	14.8	3.4
17	ワシタカ	サシバ		6.9					10.3						
18	ハヤブサ	チゴハヤブサ								3.3					
19	ハヤブサ	チョウゲンボウ							6.9		3.3		4.0		
20	キジ	コジュケイ	96.4	89.7	86.2	86.7	83.3	65.5	80.0	70.0	72.0	96.0	70.4	89.7	
21	キジ	キジ	82.1	75.9	65.5	40.0	16.7	27.6	16.7	23.3	8.0	8.0	18.5	34.5	
22	ハト	キジバト	67.9	75.9	65.5	53.3	43.3	55.2	73.3	70.0	68.0	84.0	70.4	86.2	
23	ハト	アオバト						3.3							
24	ホトトギス	ホトトギス		3.4	93.1	66.7	13.3								
25	フクロウ	フクロウ	7.1	3.4										7.4	
26	アマツバメ	ヒメアマツバメ		3.4			3.3		3.4	3.3		4.0	4.0		
27	アマツバメ	アマツバメ								10.0					
28	カワセミ	カワセミ	17.9	20.7	17.2	26.7	23.3	6.9	13.3	23.3	20.0	20.0			
29	キツツキ	アオゲラ	53.6	24.1	13.8	36.7	30.0	10.3	20.0	23.3	8.0	16.0	11.1	3.4	
30	キツツキ	アカゲラ						20.7							
31	キツツキ	コゲラ	67.9	62.1	34.5	40.0	23.3		40.0	36.7	56.0	68.0	70.4	72.4	
32	ツバメ	ショウドウツバメ								3.3					
33	ツバメ	ツバメ	28.6	51.7	37.9	46.7	46.7	6.9							
34	ツバメ	コシアカツバメ		3.4			3.3		10.3						
35	ツバメ	イワツバメ		3.4			3.3		3.4						
36	セキレイ	キセキレイ	3.6	13.8	3.4					6.7	6.7		8.0		
37	セキレイ	ハクセキレイ	25.0	13.8	6.9	6.7	10.0	10.3	16.7	10.0	12.0	48.0	22.2	20.7	
38	セキレイ	セグロセキレイ								3.3				18.5	
39	セキレイ	ピンズイ								3.3					
40	サンショウクイ	サンショウクイ	3.6								100.0				
41	ヒヨドリ	ヒヨドリ	100.0	96.6	79.3	96.7	60.0	72.4	90.0	93.3	52.0	100.0	100.0	96.6	
42	モズ	モズ	21.4	3.4			3.3		17.2	93.3	76.7		36.0	44.4	51.7
43	ヒタキ	ルリヒタキ									6.7	4.0	8.0	3.7	
44	ヒタキ	ジョウヒタキ								3.3	10.0	4.0	24.0	37.0	3.4
45	ヒタキ	トラツグミ					6.7							7.4	3.4
46	ヒタキ	クロツグミ													
47	ヒタキ	アカハラ	21.4								10.0	4.0	36.0	37.0	17.2
48	ヒタキ	シロハラ	39.3								3.3	8.0	52.0	48.1	41.4
49	ヒタキ	マミチャジナイ								3.3					
50	ヒタキ	ツグミ	21.4								10.0	12.0	28.0	81.5	65.5
51	ヒタキ	ヤブサメ	28.6	10.3	3.4										
52	ヒタキ	ウグイス	100.0	100.0	96.6	100.0	60.0		16.7	53.3	76.0	76.0	70.4	93.1	
53	ヒタキ	センダイムシクイ	7.1	3.4						3.3					
54	ヒタキ	セッカ	3.6												
55	ヒタキ	キビタキ		3.4						10.0					
56	ヒタキ	オオルリ	14.3	31.0						3.3					
57	ヒタキ	エソビタキ							6.9	3.3					
58	ヒタキ	コサメビタキ								13.3					
59	ヒタキ	サンコウチョウ								3.3					
60	エナガ	エナガ	46.4	24.1	6.9	6.7	3.3	13.8	13.3	16.7	16.0	40.0	22.2	13.8	
61	シジュウカラ	ヤマガラ	67.9	55.2	37.9	13.3	13.3	34.5	40.0	26.7	28.0	28.0	37.0	62.1	

No	科名	種名	出現率%											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
62	シジュウカラ	シジュウカラ	92.9	93.1	65.5	66.7	46.7	55.2	76.7	66.7	76.0	100.0	85.2	96.6
63	メジロ	メジロ	85.7	79.3	55.2	63.3	63.3	34.5	50.0	56.7	72.0	84.0	85.2	75.9
64	ホオジロ	ホオジロ	78.6	62.1	75.9	80.0	50.0	13.8	46.7	56.7	52.0	48.0	55.6	55.2
65	ホオジロ	カシラダカ							3.3	6.7	4.0	8.0		
66	ホオジロ	アオジ	50.0						3.3	73.3	84.0	88.0	77.8	62.1
67	ホオジロ	クロジ	7.1							6.7		4.0		
68	アトリ	アトリ								3.3				
69	アトリ	カワラヒワ	14.3		10.3	13.3		3.4		6.7		20.0	14.8	10.3
70	アトリ	ウソ								13.3	4.0	4.0		
71	アトリ	イカル	10.7											
72	アトリ	シメ	35.7	3.4						16.7		20.0	11.1	13.8
73	ハタオリドリ	スズメ	92.9	100.0	100.0	96.7	93.3	96.6	100.0	90.0	100.0	100.0	92.6	96.6
74	ムクドリ	ムクドリ	25.0	55.2	34.5	16.7	3.3	6.9	36.7	16.7	12.0	8.0	25.9	3.4
75	カラス	カケス	3.6						3.3	3.3				6.9
76	カラス	オナガ		6.9					3.3					
77	カラス	ハシボソガラス	10.7	17.2		6.7		6.9	3.3	16.7	12.0	8.0	18.5	3.4
78	カラス	ハシブトガラス	89.3	86.2	79.3	80.0	96.7	96.6	100.0	90.0	100.0	96.0	88.9	96.6
79	*ハト	ドバト		6.9		10.0	13.3	13.8	6.7	3.3	8.0	20.0		
80	ウシタカ	ハイタカ?								3.3				
81	ツバメ	ツバメsp.			6.9									
82	ヒタキ	ジョウビタキ?							3.3					
83	ヒタキ	アカハラorシロハラ										12.0		
84	ヒタキ	ツグミsp.		3.4										
85	ヒタキ	大型ツグミsp.	3.6							20.0	20.0			3.4







## ・ 投稿される方へ ・ ・ ・ ・ ・

横浜自然観察の森では、レンジャー、ボランティア、研究者、大学生など多くの人によって、各種の調査が行なわれています。そこで、日本野鳥の会レンジャーがこれらの結果を年に1度調査報告書としてまとめ、調査活動、自然解説を行なう上での資料として活用できるようにしています。つきましては、下記の要領で調査の報告を提出して下さいよう、お願いいたします。

**調査報告書の目的** 横浜自然観察の森で行われているすべての調査活動・調査項目・調査場所・調査者のリストアップと、調査により得られた情報の公開、共有。

**投稿内容** 横浜自然観察の森または円海山緑地に関わる調査、および横浜自然観察の森のボランティアが行った調査（他の場所でもOK）の活動報告とその結果。生物や自然だけでなく、アンケート調査、自然解説の手法の効果測定なども対象とします。2000年度の調査だけでなく、過去の調査の報告でもかまいません。

**形式** 「かんたんな報告」と「くわしい報告」の2種類あります。どちらか一方をお書き下さい。

**切** **2002年3月15日** 当日が調査期間中等にあたり、提出が難しい方は、ご連絡ください。

**投稿先・問い合わせ連絡先** 横浜自然観察の森 〒247 横浜市栄区上郷町1562-1  
TEL: 045-894-747 FAX: 045-894-8892  
ご不明な点はお気軽に 藤田（調査報告書担当レンジャー）まで

### 「かんたんな報告」の書き方

1. 次ページの書式に沿って、全ての項目に記入できない場合は、書ける項目だけ記入して下さい。  
→ 2001年度に行った調査については、太枠の中だけ記入するのでも構いません。この場合、調査項目や、方法、結果などは、無理に書かなくても構いません。  
→ 2001年度以前の調査について書かれる場合には、太枠内だけでなく、必ず「かんたんな調査」の調査項目や方法、結果などを書くか、または、「くわしい報告」を書くかのどちらかにしてください。
2. 「調査者」の欄には、必ず氏名を書き、氏名の後に（ ）で所属を書いて下さい。  
例：藤田 薫（横浜自然観察の森友の会・ヤマガラ大好きプロジェクト）  
調査者が複数の時には、全員の氏名を書いて下さい。
3. 図や表は「方法」や「結果」の欄に切り貼りしても、最後にまとめて添付されても構いません。
4. 原稿はなるべくプリントアウトしたものを送って下さい。
  - ・手書きの方は、紙が足りないときには、コピーして使って下さい。
  - ・コンピューター等で自分で枠を作って打ち込む方は、A4縦置きで、上3cm、下4cm、左右2.5cmの余白をとってください。各項目の行数は、変更して構いません。
  - ・枠を自分で作らずにワープロ等で打ち込む方は、原稿を書式に切り貼りしてください。

\* 編集の手間を省くため、できる限り、いただいた原稿をそのまま印刷原稿として使わせていただきたいと思っていますので、なるべくプリントアウトした原稿をお送り下さい。

横浜自然観察の森調査報告7 (2001)

調査名			
調査者			
調査場所			
調査日			
調査開始	年	次年度 継続 / 終了	終了予定 年
調査目的			
調査方法			



調査結果

引用した本・文献

# 蘇北自然生態的調查報告

蘇北自然生態調查隊

蘇北自然生態調查隊，自一九八〇年以來，先後在蘇北地區進行了多次自然生態調查，取得了大量的第一手資料。本報告彙集了調查隊在蘇北地區自然生態調查的各項成果，包括動植物資源、自然景觀、自然保護區、自然遺產等方面的調查情況。本報告共分五章，第一章為總論，第二章為動植物資源調查，第三章為自然景觀調查，第四章為自然保護區調查，第五章為自然遺產調查。本報告可供有關部門參考。

蘇北自然生態調查隊 編

蘇北自然生態調查隊 編

蘇北自然生態調查隊 編

蘇北自然生態調查隊 編

蘇北自然生態調查隊 編

蘇北自然生態調查隊 編